

# 10月の行事予定

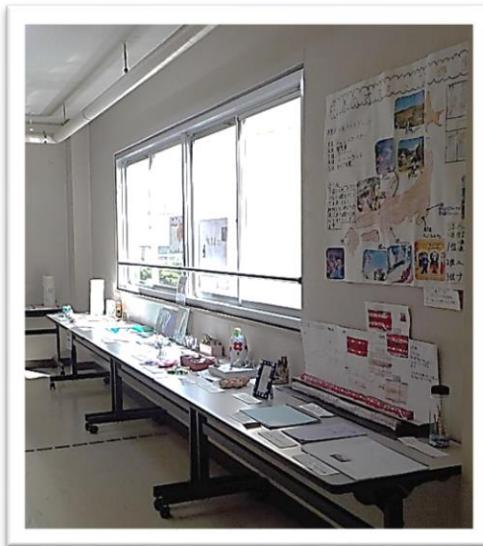
生活目標

時間を守って生活しよう

			16	日	学習発表会（1～3年保護者鑑賞） 午前授業 係活動（6年）
1	土	都民の日	17	月	振替休業日
2	日		18	火	会場片付け（5年） 5時間授業
3	月	委員会活動	19	水	
4	火	長縄タイム	20	木	
5	水	午前授業 プラネタリウム（6年）	21	金	避難訓練（二次避難）
6	木	安全指導 長縄タイム	22	土	体力づくり教室（長縄グランプリ）
7	金	長縄タイム終 移動教室保護者説明会（5年・オンライン）	23	日	
8	土		24	月	クラブ
9	日		25	火	
10	月	スポーツの日	26	水	午前授業
11	火		27	木	にっこりタイム
12	水		28	金	安全マップ作り地域探検（3年）
13	木	読み聞かせ 学習発表会リハーサル（4～6年、かしのみ）	29	土	
14	金	学習発表会リハーサル（1～3年）	30	日	
15	土	土曜授業 5時間授業 学習発表会（4～6年、かしのみ保護者鑑賞）	31	月	

## 夏休み作品展

9月8日（木）～21日（水）に夏休み作品展を開催しました。夏休み中に取り組んだ研究や工作、手芸などさまざまな作品が並びました。それぞれの学年の作品を一度見ることができ、休み時間に見に来る児童が多くいました。どの作品も、一生懸命に取り組んだのが伝わり、すばらしい作品展になりました。



★済美小学校ホームページ公開中！★★★

済美小学校の教育活動について、ホームページ「学校の様子」で公開しています。右のQRコードを読み取りご覧ください。



学校だより



# せいび

…済美小学校の大事なひとりになろう…

〒166-0013 杉並区堀ノ内 1-17-24 TEL 03-3313-2364 FAX 03-3313-8634

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibishou/>

令和4年9月30日  
杉並区立済美小学校  
校長 難波 誠二

## 多様性を尊重した学びを

副校長 吉原 勇

「多様性を尊重する」というと難しいように聞こえますが、言い換えると「みんな違ってみんないい。」ということです。

人は一人として同じではありません。当たり前のようにですが、ついみんな同じであると勘違いしてしまいがちです。

例えば、目の見え方についても人によって視力も違いますし、色の見え方も違います。視力については、数値化できるのでわかりやすいのですが、色の見え方については、配慮されにくいところがあります。色鮮やかな絵画を見て鑑賞するときにも、見ている人全員が色鮮やかに見えているわけではない・・・と配慮している人がどのくらいいるでしょうか。

耳の聞こえ方もそうです。子供と大人では、高音域の聞こえ方が違いますし、もちろん人によって聞こえに違いがあります。音は目に見えないので、街中で聞こえに不安のある人に会っても、気がつかない場面も多くあります。話しかけているのに返事をしないと失礼な人だと思いがちですが、もしかしたら聞こえていないから返事をしていないかもしれません。

目や耳はよく見聞きできても、その情報をうまく受け取れない場合もあります。見えてはいるのだけれども、また聞こえてはいるのだけれども、頭に残らない、情報として記憶しにくい人もいます。学習したことがなかなか積み重ならない人もいます。このような人に

「目の前にあるでしょ！」

「今言ったのに、聞いてなかったの？」

ということはどうでしょうか？本人の不注意の責任でしょうか？

済美小に通う子もいろいろな子がいます。よく見聞きできる子だけがよい子というわけではありませんし、学習内容がすぐわかる子だけがよい子というわけでもありません。得意な部分があっても、みんなよい個性のもち主です。得意な部分を補って余りある得意な分野をもっている個性のある子もいます。ひとりひとりがその個性や特性に合った学びができ、成長できることが大事であると考えています。

もし見え方に課題があるのなら見えやすい環境にする、もし聞こえ方に課題があるのなら聞こえやすい環境にする、もし学習が進みにくい課題があるなら進みやすい環境や方法を取り入れる・・・等の工夫がこれからの学校教育には必要です。全員が同じ方法で同じように学んでいくのではなく、個に応じた方法で個に応じた進度で学んでいく機会を作つたらと思います。

学習教材やタブレットPCを活用し、まず自分で考える「自力解決」の時間、次に周りの子と相談しながら学習を進め、自分の考えを発表したり周りの意見を聞いて自分の考えを修正したりする「グループでの学び」の時間、さまざまな意見を吸収してさらに学びを深める「全体での共有」の時間などを取り入れた授業を進めています。算数科での習熟度別学習も個に応じた学びのためにクラスを取り外したグローピングを行っています。

家庭学習も、これまでの「全員同じ課題」から、タブレットPCを活用したオンラインドリル等による個に応じた課題設定も取り入れていきます。ご協力をお願いします。